

2期目がスタート

高木市長の施政方針説明

2期目の市政運営に臨む所信の一端が、市長から説明されました。それに対する議員からの質疑、市長の答弁の一部を紹介します。

市長施政方針（抜粋）

1. コロナ禍に立ち向かい「市民の命と暮らしを守り抜く」
2. 誰もが自分らしく輝いて暮らせる「共生社会」の実現
3. 渋川で暮らす喜びを実感「子育て・教育環境のさらなる充実」
4. 人生100年を渋川でいきいきと暮らす「暮らしを守る保健・医療・福祉の充実」
5. 災害に強い、地域が輝く、市民がつながる「市民の暮らしの充実と防災都市の実現」
6. 渋川発展の原動力となる力強い経済「産業の振興と交通網の整備」
7. 日本の名湯伊香保温泉を核とした新たな観光魅力創造「伊香保温泉、文化、自然など多様な観光資源の活用」
8. ふるさとに誇りを持ち未来を創る「地方再生へのチャレンジ」
9. 新たな息吹を地域にもたらす「移住・定住の促進と人口減少対策」
10. 新たな時代を展望「デジタル改革の推進と持続可能な行財政運営」

コロナ禍に立ち向かい「市民の命と暮らしを守り抜く」

質疑 本市のコロナワクチンの接種状況は。

答弁 9月16日現在、1回目の12歳以上に対する接種状況は76・4%で本市は群馬県の中でもトップクラスです。10月には希望するすべてのの方にワクチン接種を完了させていきたいと思っています。

渋川で暮らす喜びを実感「子育て・教育環境のさらなる充実」

質疑 「日本一の教育都市渋川」を目指すとは。また、「渋川版ネウボラ制度」の導入とは。

答弁 地域とともに子どもを育てる環境を進めます。また、妊娠から出産、周産

期、子育てと一貫して子どもを育てていく環境をつくっていきます。本市は子育て支援総合センターを設けて現在取り組んでいます。

災害に強い、地域が輝く、市民がつながる「市民の暮らしの充実と防災都市の実現」

質疑 気象防災アドバイザーを任命したが、どのような活躍をされているか。また、防災対策はどのように変化しているのか。

答弁 気象防災アドバイザーには自治会等への気象災害についての講演会や地域防災計画の抜本的な見直しなどさまざまな活動をしていただいております。

女性目線、そしてコロナ禍でどう防災体制をとるべきかなど地域防災計画の抜本的見直しに取り組んでいます。

渋川発展の原動力となる力強い経済「産業の振興と交通網の整備」

質疑 新産業ゾーンについて

具体的な展開の進捗よく状況は。

答弁 現在まで市内7カ所でさまざまな調査を進めてきました。その中から渋川伊香保インター周辺を先行して調査を進めていきます。

ふるさとに誇りを持ち未来を創る「地方再生へのチャレンジ」

質疑 地方再生へのチャレンジについて、脱炭素社会の実現に取り組むとあるが、具体的な内容は。

答弁 デジタルと併せてグリーン社会をつくっていくことを今、国を挙げて取り組んでおります。地球温暖化を防ぐため、自動運転バスの実証実験も本市において何度か行われております。もったいない条例等、さまざまな観点から脱炭素社会を積極的に進めることによって暮らしやすい社会、力強い経済にもつなげていきたいと思えます。

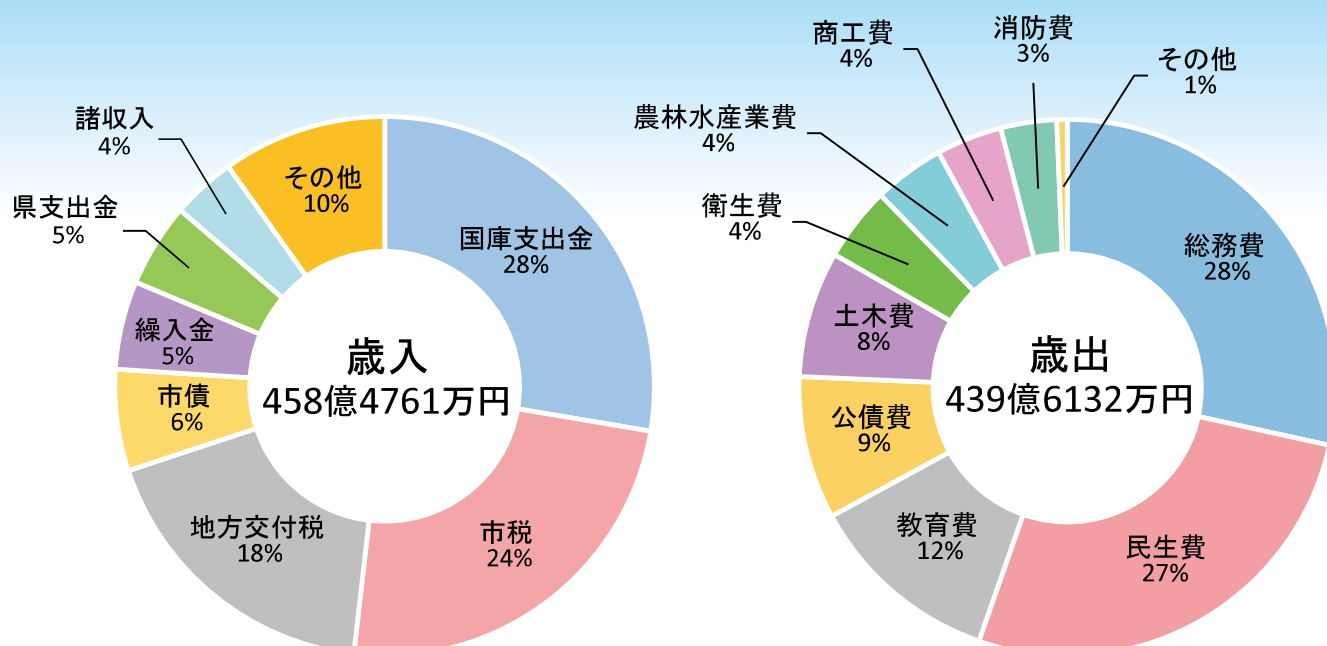
歳入額 720億5093万7376円
 歳出額 711億3902万7862円

令和2年度決算を認定

（決算特別委員会）

		歳入	歳出	
一般会計		458億4761万3850円	439億6132万9174円	
特別会計	国民健康保険	90億2828万1452円	88億8362万1619円	
	後期高齢者医療	10億9893万2173円	10億9323万5835円	
	介護保険	91億428万6068円	88億5617万689円	
	農産物直売事業	547万8440円	422万9907円	
	伊香保温泉観光施設事業	2億4055万6516円	2億3292万1473円	
	小野上温泉事業	5897万2109円	5897万2109円	
	交流促進センター事業	6179万1998円	5394万8998円	
企業会計	水道事業	収益的収入・支出	18億517万5526円	17億6269万4050円
		資本的収入・支出	9187万1616円	10億2566万487円
	下水道事業等	収益的収入・支出	28億2703万2767円	25億4751万2066円
		資本的収入・支出	18億8094万4861円	26億5873万1455円

一般会計決算額の内訳



みなさんの税金の使い道の一部です

<p>土木費 33億3620万円</p> <p>生活道路等緊急整備事業 4884万円</p> <p>公園トイレ洋式化 整備事業 849万円</p> 	<p>教育費 51億4611万円</p> <p>通学バス運行事業 2億1247万円</p> <p>新しい学校生活実践事業 3760万円</p> 	<p>民生費 118億2043万円</p> <p>自立支援給付事業 16億8378万円</p> <p>放課後児童健全育成事業 1億7288万円</p> 	<p>総務費 125億3124万円</p> <p>情報システム運用事業 2億487万円</p> <p>乗合バス運行費補助事業 1億5890万円</p> 
<p>消防費 14億7976万円</p> <p>分団詰所整備事業 5981万円</p> <p>災害時非常用電源車 整備事業 2420万円</p> 	<p>商工費 17億4693万円</p> <p>しぶかわ元気券発行事業 4億8030万円</p> <p>安心安全誘客支援事業 2673万円</p> 	<p>農林水産業費 18億7629万円</p> <p>有害鳥獣対策事業 3108万円</p> <p>ドライブマルシェ 実施事業 200万円</p> 	<p>衛生費 19億7049万円</p> <p>感染症予防事業 2億5814万円</p> <p>がん対策事業 4155万円</p> 

令和2年度一般会計

令和2年度一般会計決算、国民健康保険特別会計決算及び介護保険特別会計決算は多数決、そのほかの決算は全会一致で原案のとおり認定されました。
決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

行政事務執行適正化推進事業

質疑 コンプライアンス研修の成果は。

答弁 講師を招き課長級以上の職員を対象にコンプライアンス研修を1回実施しました。成果は表れているのではないかと理解しています。

自治会連合会等支援事業

質疑 自治会連合会等支援事業の不用額が多い理由は。

答弁 新型コロナウイルスの影響により、視察研修が中止となったこと等によるものです。

バス交通デマンド化検証事業

質疑 検証事業の成果と課題は。

課題は。

答弁 実証実験では地理的条件等を整理した上で利用状況を把握し、それに応じた輸送手段の妥当性を検証しています。課題はデマンド型交通の場合、利用者1人当たりの運行経費増大です。実証実験や試行運転の成果の検証が重要になると考えます。



北橘地区を走るデマンドバス

※有収水量

給水量のうち料金徴収の対象となった水量のこと。

がん対策事業

質疑 令和2年度のがん検診の受診率が低いのはなぜか。また、市の目標とする受診率ほどのぐらいか。

【答弁】 コロナ禍で緊急事態宣言の発出によるすべての検診の延期に伴い、日程の組み替え、検診の予約制の導入などにより受診率が低下しています。受診率目標は50%を目指しています。

住宅リフォーム促進事業

質疑 大変人気のある事業と思われ、申込受付がすぐ終わってしまうようであるが、令和2年度はいつ頃申し込みが終了したのか。

【答弁】 好評な事業のため、毎年早期に予算に達してまいります。そのため昨年度は申し込みを2期に分けて行いました。前期は4月1日から5月28日の間に67件の申し込みがありました。後期は10月1日の申込開始日に52件の申し込みがあり、上限に達したため、受付終了となりました。

農業者経営継続応援事業

質疑 新型コロナの影響を受け、経営が悪化した農家へ3万円の交付支援を行った成果は。

【答弁】 合計で80件の農家を支援いたしました。内訳は果樹13件、花き12件、酪農15件、肉用牛関係12件、野菜25件、その他3件です。

有害鳥獣対策事業

質疑 どのような体制で取り組んでいるのか。また、継続させていかなければならない事業だと思いが、今後についての考えは。

【答弁】 9隊、103名に捕獲隊として活動していただいています。知り合いや興味がある方など、少しでも隊員を増やしながらか継続できるようにしていきます。また、狩猟免許取得の経費を今年度予算に組みました。

しぶかわ元気券発行事業

質疑 売れ残りの券の販売方法について、どのような問題点があったか。また、改善策は。

【答弁】 今回はあくまでも市内の消費喚起を速やかに、経済を回す考えを優先いたしました。今後類似する施策を考える際にはきちんと制限を設けるような方法も取り入れていく必要があると思います。

詐欺被害等対策事業

質疑 詐欺被害対策電話機等の補助の成果は。また、市内の詐欺被害について。

【答弁】 群馬県警では詐欺被害防止機能付装置を設置した場合、不審電話が8割減少したと実証されています。実際に詐欺被害防止機能付装置を設置して被害に遭われた方はいませんでした。また、市内被害件数は9件、被害総額は1077万円です。

健康づくり支援事業

質疑 赤城健康公園で体験会を2回開催したが、参加者の感想や成果は。

【答弁】 参加者へ行ったアンケートによると、全員が「良い」との感想でした。また、

今後の利用についても「また利用したい」という全員感想でした。その後にながっているのではないかと考えられます。



整備された赤城健康公園

小中学校不登校対策事業

質疑 児童生徒一人一人に合った支援が必要だと思うが、どう考えているか。

【答弁】 一人一人に合った対応と不登校の原因を見極めることが重要だと思います。適応指導教室「かけはし」と相談しながらその児童生徒に合った対応を考えていきます。

令和2年度特別会計等

国民健康保険特別会計・事業勘定

質疑 若年者健康推進事業の健診受診者139人、保健指導終了者13人は少ないか。

【答弁】 例年は750〜800人の受診者がいますが、昨年度はコロナの影響で受診の機会が少なくなったりしたためと思われます。

質疑 24時間電話健康相談の主な相談内容は。

【答弁】 病気の症状と治療に関する相談が半数を占めております。

水道事業会計

質疑 有収水量率が低いのは漏水箇所が多いことが原因かと察するが、現状は。

【答弁】 有収水量率が低い原因として施設の老朽化による漏水や、軽石層の地形が多く、漏水が地表に出てこないため発見しづらいことが挙げられます。

第3回
臨時会のあらまし
(8月12日開催)

【一般会計補正予算
(第6号)】

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機を余儀なくされている方に食品や日用品を支給するための予算、新型コロナウイルス生活経済安定対策として、まん延防止等重点措置などの実施により影響を受けている飲食関連事業者を支援するための予算などで、全員一致で可決しました。

【国民健康保険特別会計
補正予算(第2号)】

新型コロナウイルス感染症に感染した国民健康保険被保険者である個人事業主に、傷病見舞金を支給するものです。支給額は被保険者1人につき20万円(1回限り)です。全員一致で可決しました。

本会議における渋川市長の答弁の真偽に関する調査特別委員会

6月中に3回、7月中に2回開催し、証人尋問で得られた証言内容の整理、審査報告書のまとめ方の検討、協議を行いました。

その中で、いくつかの証言に食い違いが認められました。その整理に当たり、虚偽の陳述として告発の必要性も含め、さまざまな意見が出されました。委員会では真実の追究に限界があるので司法の判断に任せてはどうかという意見や、委員会ですら判断できないものは告発すべきではないという意見がありました。

今後も引き続き審査報告に向けて、協議を進めていきます。



討論

討

9月定例会で行われた主な討論について、概要を報告します。
討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることを言います。

「令和2年度渋川市一般会計歳入歳出決算について」

賛成

歳出ではコロナの交付金を活用し、多くのコロナ対策事業を迅速に実施しつつ、事業の中止や見直しによる不用予算を市債繰上償還に当てるなど財政健全化に努めた。

その結果、前年度に比べ經常収支比率は1・1ポイント、将来負担比率は3・5ポイント改善し、一定の財政運営はできたものと評価する。

地域コミュニティの活性化や移住者支援など、各分野のさまざまな事業の積極的な取り組みは、市の活性化や安全・安心な市民生活の確保につながったものと認識する。

反対

コロナ対策では医療機関、医療従事者への支援、待遇改善等を求めてきたが、わずかな支援にとどまった。また、事業所、学校などに対する大規模定期検査の実施を求めたが、実施されなかった。

森林法違反を認めながら対処しなかったことは大きな責任があると言わざるを得ず、市道のスラッグ問題も妨害排除請求が認定されたにも関わらず、控訴したことは承服できない。

コロナの影響で経営難に直面している事業者に対し、市独自の支援を強化し、支えるべき。

請願・陳情

◎義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の請願について・・・【採択】

◎歴史的価値のある硯石の原状回復を求める請願書・・・【採択】

渋川市議会はインターネット中継しています。
市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス
<http://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>
パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。

右の二次元コードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。

